2025年6月18日

東京大学大学院医学系研究科 生物統計学教室 特任助教
牧戸 香詠子

NDB の利用申請および研究紹介

厚生労働省は、NDB（匿名医療保険等関連情報データベース）等の公的医療データベースの第三者提供において、利便性の向上を進めてきた。昨年度からは、NDBの提供体制の抜本的な見直しが進められており、ポータルサイトでの利用申請の導入、アドバイザープラットフォームの構築やクラウド環境（HIC：healthcare intelligence cloud）において、原則7日で、探索的利用を目的とした通年パネルデータセット等の提供を開始した。また、更なる利便性向上のため、令和7年度厚生労働科学研究「NDB/HICのユーザビリティ向上を通じてクラウド上でのデータ二次利用を推進するための研究」において、通年パネルデータセットを実際にポータル上で申出し、データを取得、HICにて解析し成果物公表といった一連のサイクルを実施し、研究者および提供者の視点からNDB提供の支援体制の在り方を検討した。今回、NDB申請方法からNDB研究をするうえで、知っておくべきレセプトの構造、pitfall、およびNDB研究例についてまとめたので、報告する。

文献

1. 第21回 匿名医療情報等の提供に関する専門委員会 資料1「NDBにおける新たな迅速提供の形態について（案）」
<https://www.mhlw.go.jp/content/12400000/001262621.pdf>
2. 第20回 匿名医療情報等の提供に関する専門委員会 資料1「NDB提供体制の見直しについて（案）」
<https://www.mhlw.go.jp/content/12400000/001214757.pdf>
3. 第22回匿名医療情報等の提供に関する専門委員会 資料1「NDBの第三者提供手数料の改正について（報告）」
<https://www.mhlw.go.jp/content/12400000/001306006.pdf>
4. 厚生労働行政推進調査事業費補助金 行政政策研究分野 厚生労働科学特別研究「NDB研究支援体制の実践的検証研究」
<https://mhlw-grants.niph.go.jp/project/174944>